

# KEYAK!

1月号

明けましておめでとうございます。今年も職員一同がんばります。

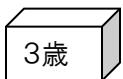
子どもたちはどんな冬休みを過ごしたのでしょうか。今では少なくなった、何か「お正月らしい」あそびや過ごし方をした子がいたらぜひそのエピソードを聞いてみたいものです。

過ごし方とはちょっと違うと思いますが、このお正月中は何かと時間をカウントしてしまうことがやたら多い正月休みでした。具体的に挙げるとキリがないのですが、クセのようにイチ、二、サン・・・とカウントしてしまうのです。そんな中で一番感じたことは、1秒のなんと早いことか！あつという間というかあつと言ってる間にどんどん時間は経っていきます。秒で数えているとどんどん時間は過ぎていくのに、10分待つのは結構大変なのは何故でしょう？

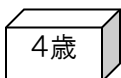
そこでまたまた感じたのが、きっと子どもたちって1秒とか1分とかの時間軸で生活しているわけではないのだろうな・・・という私的感覚です。と考えると子どもたちと接するとき、5分とか10分くらいの感覚で物事を進めていくとうまくいくような気がします。結果、気持ちに余裕を持て、ということになるのでしょうかね。あーあ、いつもと同じような展開になってます・・・。休み前に子どもたちに言う同じこと、ありがとうを言おう、も同じ展開ですが、肝心なのは「ありがとう」と子どもに言われて、「えらいね」「どういたしまして」などのさりげない大人の自然体の返し言葉が彼らに幸福感を与えていくものと思われます。

そこらへんも含めまして、今年もよろしくお願い致します。

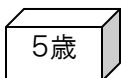
## 今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- ・ごっこ遊びなどにおいて、イメージを共有するだけでなく、ストーリーを次々とイメージしあそびをふくらませていく
- ・描くことや作ることの基本的な技術を習得することによって、さらに興味をもって楽しめる（経験の幅をひろげる）
- ・冬の自然事象に興味を持ち、友達と発見したり触れたりしてあそびに取り入れて楽しむ



- ・クラス、グループでひとつの目的を共有できる
- ・自分なりの力を発揮しながら、目的にむけて工夫したり繰り返し取り組んだりする
- ・冬の自然にかかわって遊びながら、様々なことに気づいたり感じたりする



- ・やりたい遊びが増え、友達を誘い相談しながら工夫、発展させていく
- ・見通しを持ってある期間集中して取り組める
- ・自分達で大まかなスケジュールを考え、それに沿って生活できる